

授業科目名	オルタナティブセラピー		担当教員	◎千葉 恵子、松岡 純子	科目ナンバリング LE228
選択	開講年次：2年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間		

### 【授業概要】

代替療法の概念を学ぶとともに、患者の身体的・精神的苦痛をいやすことを目的として実施されている代替療法の実際について学ぶ。

### 【達成目標】

1. 補完代替療法の概念について理解する。
2. 看護におけるオルタナティブセラピー(代替療法)を理解する。
3. 美術療法のひとつとして臨床美術の概念を把握する。
4. 臨床美術の制作と実践を通してその効果を理解する。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

[01] 補完代替療法の概要について	(千葉)
[02] 看護における補完代替療法の現状と問題	(千葉)
[03] 補完代替療法の種類と方法について	(千葉)
[04] 症状コントロールと補完代替療法	(千葉)
[05] がん患者と補完代替療法	(千葉)
[06] アートプログラム制作「五感で描く・味覚のアナログ画」	(松岡)
[07] 臨床美術の概要とアートプログラム制作「思い出の空」	(松岡)
[08] アートプログラム制作「にんにくをつくる」	(松岡)
[09] アートコミュニケーション：ギャラリートーク	(松岡)
[10] 実践研究：実習プログラム「なすの量感画」試作	(松岡)
[11] 実践研究：実習プログラムのロールプレイング	(松岡)
[12] アートプログラム制作「アジの干物を描く」	(松岡)
[13] アートプログラム制作「石のアナログ画」	(松岡)
[14] アートプログラム制作「スイカの残暑見舞い」	(松岡)
[15] 実践研究：実習報告	(松岡)

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

- 宇野正威 芸術造形研究所編著(2013)：認知症医療と芸術のコラボレーション 金剛出版  
金子健二 編著(2013)：臨床美術～認知症治療としてのアートセラピー 日本地域社会研究所  
今西二郎, 荒川唱子(編集)(2010)：アロマセラピー入門 日々の看護に生かすホリスティックアプローチ, 日本看護協会出版会  
荒川唱子, 小坂橋喜久代(編集)(2001)：看護にいかすリラクゼーション技法 ホリスティックアプローチ, 医学書院

### 【評価方法・評価基準】

小テスト20% 講義レポート20% 実習課題レポート25% 作品提出35%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

- 事前学習：授業内で提示した内容について事前に準備を行う(2～3時間)。  
事後学習：授業内で説明した内容の実習を実施し期日までに提出する(2～3時間)。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習課題レポートについては、授業内で発表し合い共有する時間を持つ。

### 【備考】

授業で実施する芸術療法以外の代替療法については、興味を持った書籍を選定し読むようにする。